

2019安全・インテグリティ推進講習会

# インテグリティへの取り組みのお願い

(公財)日本ラグビーフットボール協会  
企画部  
アンチ・ドーピング委員会



1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. インテグリティに関する状況

3. アンチ・ドーピングへの対応の紹介

4. 取り組みのお願い

## インテグリティ追求

<https://www.rugby-japan.jp/jrfu/integrity>

# インテグリティ追求について

ラグビーの価値を高める5つの要素が「ラグビー憲章」の中で述べられています。ひとつひとつがとても重要な意味を持っていますが、インテグリティは、すべての土台になる基本の姿勢・精神と言えます。

- **品位** **INTEGRITY**
- **情熱** **PASSION**
- **結束** **SOLIDARITY**
- **規律** **DISCIPLINE**
- **尊重** **RESPECT**

ラグビーに関わる人々(選手、指導者、観客、選手の家族、協会関係者など)に、ラグビーの場だけでなく日常生活や社会生活の場において、インテグリティという言葉が意味するところの「品位」「高潔さ」「健全性」を実現するための行動が求められます。

“Integrity of Sport” = スポーツの完全性・高潔性

スポーツにおける「インテグリティ」とは、

「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態」にあることを指す。

## Integrity of Sportを脅かす要因



# インテグリティのための相談窓口

ラグビーにおけるインテグリティに反する行為に対応するための「相談窓口」を設置  
(2018.4)

インテグリティ相談窓口

[https://www.rugby-japan.jp/support\\_center/](https://www.rugby-japan.jp/support_center/)

## 対象となる行為

倫理規程第3条第2項に定められた行為が対象

- 指導に名を借りた暴力行為、いじめ、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、差別、暴言等、その他人権尊重の精神に反する言動
- 競技のために、世界ドーピング防止規定・禁止表国際基準に規定する禁止物質を使用すること、または使用させること

(中略)

- その他、著しくスポーツマンとしての品位、名誉に欠ける行為

など

どちらもダウンロード可能

## コンプライアンスの学習資料



スポーツ団体のための  
コンプライアンス・ハンドブック2018

平成29年度スポーツ庁スポーツ界コンプライアンス強化事業  
「スポーツ団体のためのコンプライアンス・ハンドブック2018」

[https://rugby.dweblink.jp/images/コンプライアンス・ハンドブック%20\(2\).pdf](https://rugby.dweblink.jp/images/コンプライアンス・ハンドブック%20(2).pdf)

日本財団パラリンピックサポートセンター  
『マンガで学ぶスポーツコンプライアンス  
~アスリートが知っておくべき大切なコト~』

<https://www.parasapo.tokyo/topics/1860>

平成29年度スポーツ庁  
スポーツ界のコンプライアンス強化事業  
スポーツ団体におけるコンプライアンス教育

# World Rugby提供のe-Learning

**Keep Rugby Onside**  
World Rugby's anti-corruption web site

Keep Rugby Onside ポスター

ログイン 登録

ホーム  
本規定の対象者  
賭け事に関する制限  
八百長  
その他の不正行為  
インサイダー情報  
不審なアプローチ  
通報  
制裁  
その他

World Rugbyとしてコンプライアンス遵守のためのe-Learningを提供

「Keep Rugby Onside」(日本語訳で受講可)  
<http://integrity.worldrugby.org/?language=EN&language=ja>

「Keep Rugby Clean」(英語のみ)  
<http://keeprugbyclean.worldrugby.org/?language=en>

▶ 協賛者

1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. インテグリティに関する状況

3. アンチ・ドーピングへの対応の紹介

4. 取り組みのお願い

# 2018.11.6 スポーツ仲裁シンポジウム

## 鈴木長官「現状のままでは…」相次ぐ不祥事に危機感

11/6(火) 18:10配信

**日刊スポーツ**



基調講演を行ったスポーツ庁の鈴木長官（撮影・佐藤礼征）

スポーツ庁の鈴木大地長官（51）が6日、都内で日本スポーツ仲裁機構（JSAA）主催の「第15回スポーツ仲裁シンポジウム」に出席し、日本スポーツ界におけるコンプライアンス体制の基本方針などについて語った。

**【写真】** 相次ぐ競技団体の不祥事に表情も曇りがちの鈴木大地長官

# 指導現場で起きていること

日本ラグビー協会に  
かかってきた電話より

重い脳振盪となったのに協会に報告をしてもらえていない。休ませてもらえていない。

高校でビンタや体罰が横行しており、勉強よりラグビーを取れと言われている

スクールのコーチから暴言や体罰を受けているので、改善を求めたが、嫌ならやめればと言われた

## インテグリティ問題発生状況

インテグリティに関する事案を管理  
(相談窓口、協会事務所への電話、報道されている問題など)

月	ドーピング	暴力/パワハラ	暴力以外の 不適切な指導	SNS	その他
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

パワハラ/暴力の問題などを含めて  
多様な問題が発生

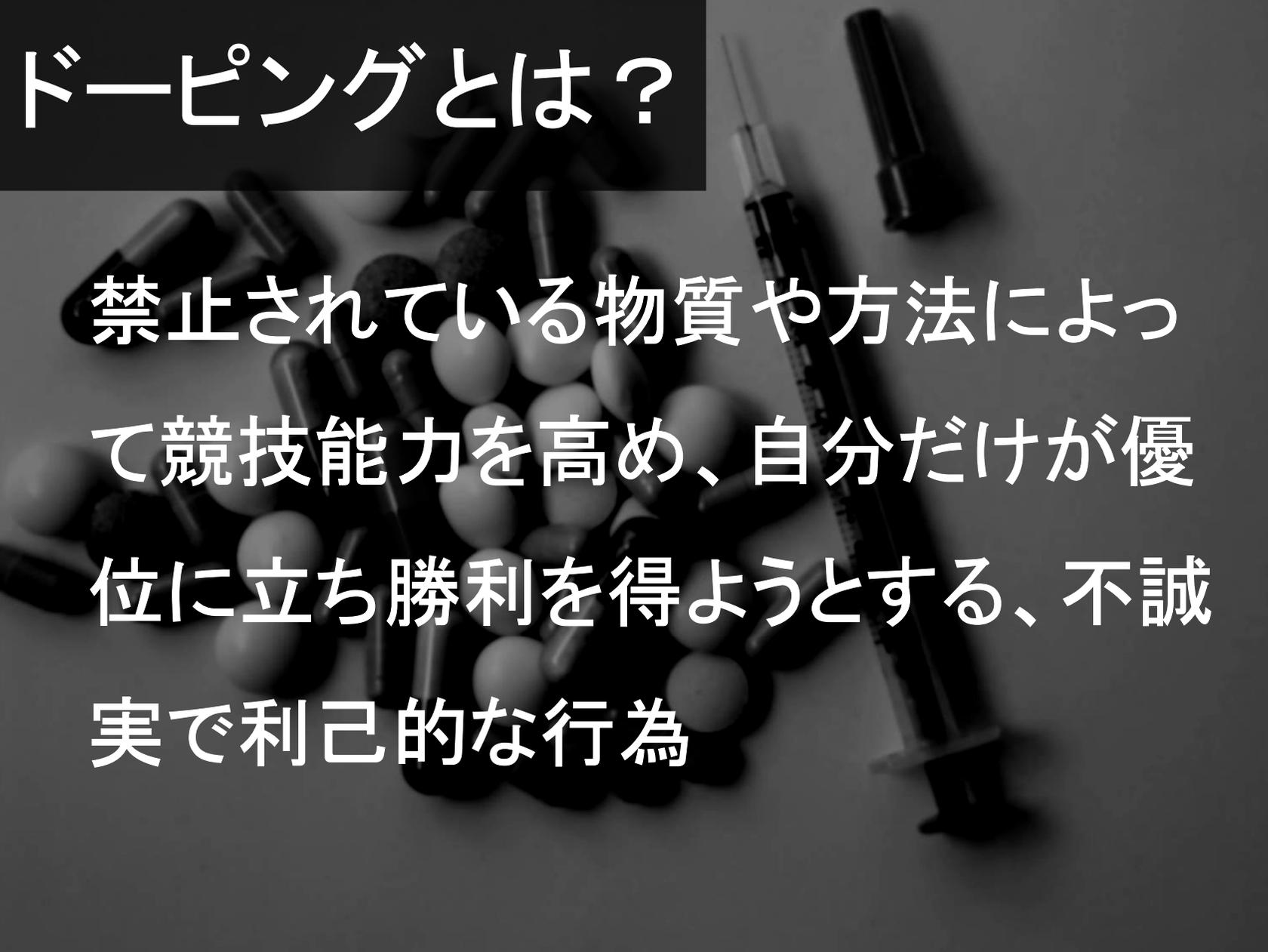
1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. インテグリティに関する状況

3. アンチ・ドーピングへの対応

4. 取り組みのお願い

# ドーピングとは？

A collection of various pills and a syringe, symbolizing doping. The pills are scattered across the frame, and a syringe is positioned vertically on the right side. The background is a dark, textured surface.

禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、自分だけが優位に立ち勝利を得ようとする、不誠実で利己的な行為

# アンチ・ドーピング教育啓発(2018年度)

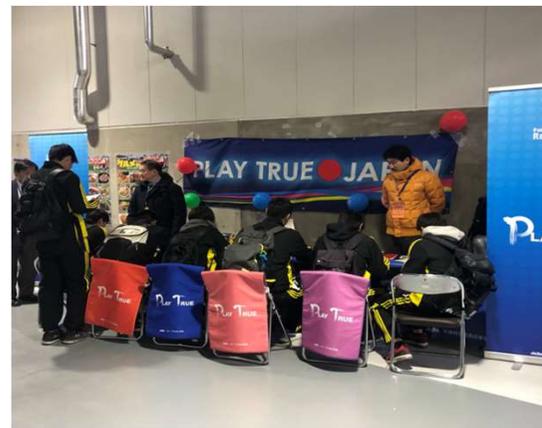
①代表チームおよびトップリーグへの研修会

②大学チーム研修会

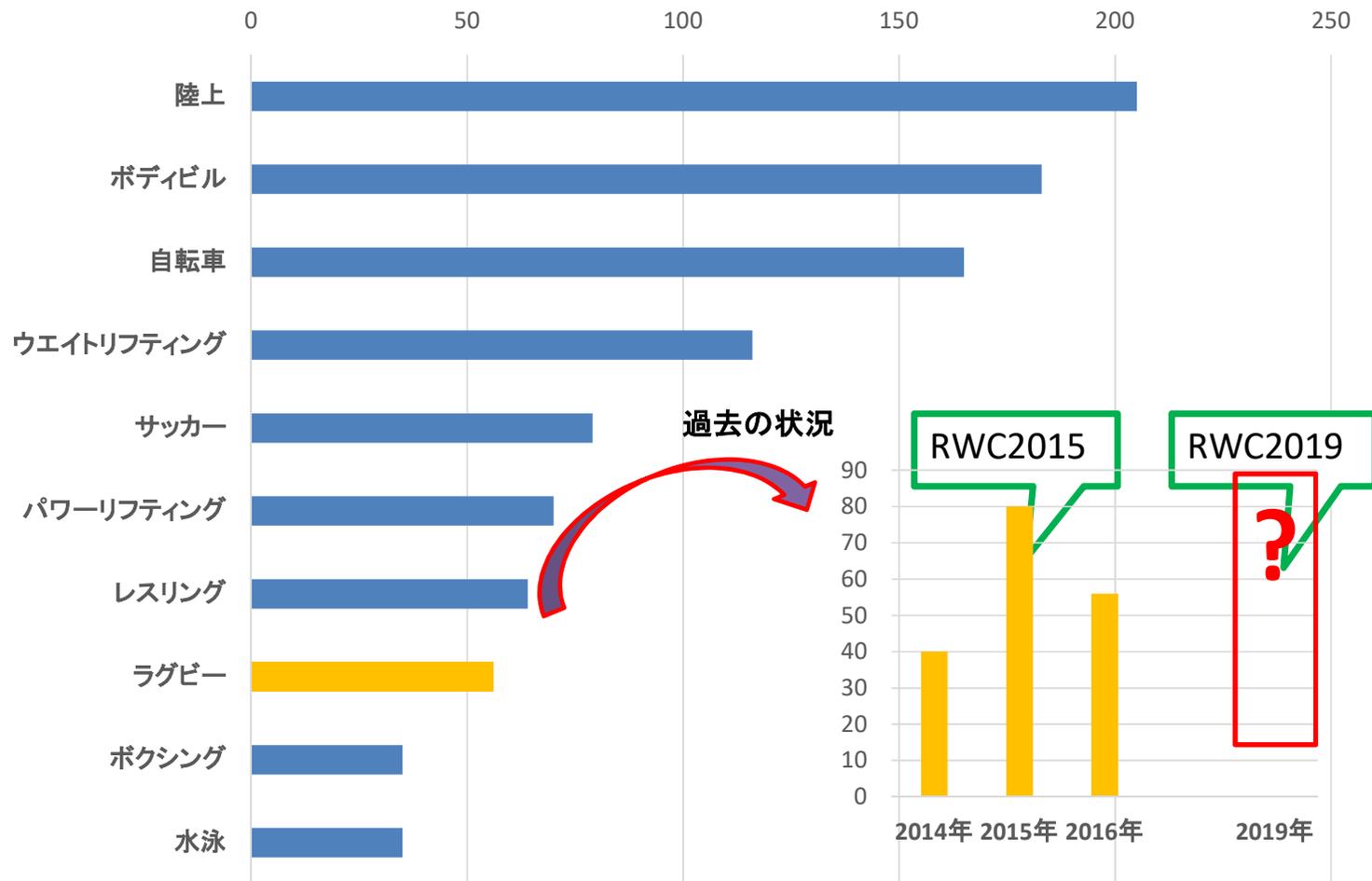
(JADA講師養成講習会受講者が講師として実施)

③アウトリーチプログラム

- サニックスワールドユースラグビー大会(@福岡宗像)
- 太陽生命カップ第9回全国中学生大会(@茨城水戸)
- 第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会(@大阪花園)



# 違反が多い競技(2016年の結果\_WADA)



# 10のアンチ・ドーピング規則違反

- 1 採取した尿や血液に**禁止物質が存在すること**
- 2 **禁止物質・禁止方法の使用**または**使用を企てること**
- 3 ドーピング検査を**拒否**または**避けること**
- 4 ドーピング・コントロールを**妨害**または**妨害しようとする**こと
- 5 居場所情報関連の**義務を果たさない**こと
- 6 正当な理由なく**禁止物質・禁止方法を持っている**こと
- 7 **禁止物質・禁止方法を不正に取引し、入手しようとする**こと
- 8 アスリートに対して**禁止物質・禁止方法を使用**または**使用を企てる**こと
- 9 アンチ・ドーピング規則違反を**手伝い、促し、共謀し、関与する**こと
- 10 アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で**関係を持つ**こと



## A. 医薬品

治療使用特例(TUE)が認められる(条件付き)

「**薬**」は医薬品医療機器法により

全ての成分が明確である

【参考:医薬品医療機器法】

## B. 漢方薬

「**生薬**」のため

全ての成分が明確ではない

(原材料の成分が明確ではない)

【参考:生薬総則】



## C. サプリメント

「**食品**」のため

全ての成分が明確ではない

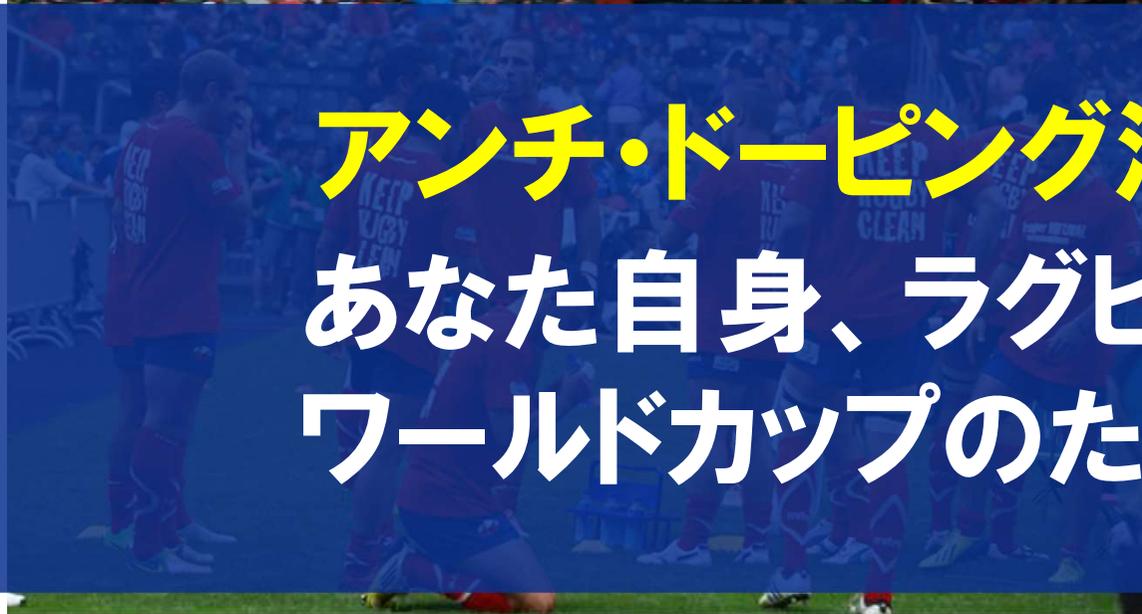
【参考:食品衛生法第四条】



# ラグビー × KEEP RUGBY CLEAN



**アンチ・ドーピング活動**  
あなた自身、ラグビー、  
ワールドカップのために



# 公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

文字サイズ [標準](#) [拡大](#)

[よくあるご質問](#)

アスリート&競技団体の方へ      医療関係の方へ      教育関係の方へ      一般の方へ      企業関係の方へ

**アンチ・ドーピングとは**      **ルールと規則違反**      **事業と活動**      **JADAについて**      **FAIR PRIDE**

**教育関係の方へ**

授業でアンチ・ドーピング  
を取り扱う方 >

**部活動の指導をされている方** >

大学体育会で指導をされて  
いる方 >

## 部活動の指導をされている方

**重要な案内**

**2018.12.27** [2019禁止表国際基準ポイントを参考資料として公開しました](#)

**2018.12.07** [2019禁止表国際基準（日本語版）を公開しました](#)

### TOPICS

[一覧へ](#) >

**2018.12.27** [お知らせ](#) ● 2019治療使用特例（TUE）国際基準公開を公開しました

**2018.12.20** [違反に関する決定](#) ● 2018-003事件 日本アンチ・ドーピング規律パネル決定について

**2018.12.11** [ニュース](#) ● 2018アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピング・セミナーを開催しました

**2018.12.10** [お知らせ](#) ● JADAホームページリニューアルのお知らせ

[なぜアンチ・ドーピングが必要なのか](#)      [ルールについて知る](#)

## ロールモデルアスリート:菊谷 崇 さん



アンチ・ドーピングの活動を推進する為に、  
ロールモデルとなるアスリートの方に協  
力をいただいて、JADAが動画を作成しま  
した。JADAと連携して公開しましたので、  
是非ともご覧ください。

<https://www.realchampion.jp/fairprideinterview/>

**アンチ・ドーピングに対する啓もう活動に協力いただいています！**

1. 日本ラグビー協会のインテグリティへの取り組み

2. インテグリティに関する状況

3. アンチ・ドーピングへの対応の紹介

4. 取り組みのお願い

## インテグリティ対応強化へのお願い

日本ラグビー協会に登録されている各チームの皆様は、インテグリティの重要性を理解し、以下の3点についての取り組みをお願いします。

	項目	目的/内容
1	インテグリティ/コンプライアンス/ガバナンス についての学習	何が問題となっているのか、何が問題となるのかを 理解する
2	問題への適切な対応とラグビー協会への報告	問題の解決と実態把握/対策検討(軽度のものから)
3	JRFU 『インテグリティ相談窓口』の利用	外部弁護士による適切な対応の実施

【連絡先】 JRFU 企画部 齋藤守弘 [m.saito@rugby-japan.or.jp](mailto:m.saito@rugby-japan.or.jp)

# 参考情報

# 「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」 (日本スポーツ協会ホームページ)

## スポーツ指導者のための倫理ガイドライン

スポーツの意義や価値が改めて問われている昨今、日本体育協会では、スポーツ指導者の望ましい考え方や行動についてガイドラインを策定いたしました。

本ガイドラインでは「スポーツの価値」「プレーヤーズファースト」「フェアプレー」の視点から、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動をサポートするためのプレーヤーと指導者の望ましい関係づくりについて解説しています。

また、暴力やハラスメントなどの反倫理的行為が起きる背景や影響、指導者としての注意点なども網羅しています。スポーツ指導者はもちろんのこと、保護者や審判員、運営担当者など、スポーツに関わるすべての方にご一読いただき、本ガイドラインの趣旨を共有することで、スポーツ界から反倫理的行為を根絶するための一助となれば幸いです。



### <内容>

- I. スポーツの意義と価値
- II. スポーツ指導者の役割
- III. スポーツ指導者の心得
- IV. 倫理的問題が起こらないために
- V. 資料編

全文ダウンロード 

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/677/Default.aspx#book01>

# 参考書籍 「スポーツインテグリティの探求」



著作者 勝田隆／著 友添秀則／監修

出版社 大修館書店

価格 ¥2,500

当書籍は、スポーツインテグリティについて丁寧に説明するとともに、どのように取り組んでいくべきかを構造的に解説しており、スポーツインテグリティを学ぶ方にはお勧めできる書籍です。